



社報

北相模総守護社
亀ヶ池八幡宮

龜ヶ池



第7号 [平成21年7月1日発行]

発行／亀ヶ池八幡宮社務所
〒229-1123 神奈川県相模原市上溝1678
TEL.042-751-1138 FAX.042-757-3811
URL <http://www.kamegaike.jp>
E-mail: info@kamegaike.jp



御社頭 青空に翻る日の丸

奉祝

天皇陛下御即位二十年
天皇后陛下御結婚五十年



いちじょう



今年三月突如としてメキシコから発生した豚インフルエンザという新型ウィルスは瞬く間に世界に拡がった。日本では対岸の火事と嘯いているかの如しであったが、五月に入り、渡航歴の無い神戸市の高校生がこの新インフルエンザと認定されるや蔓延の兆候が現れ、大阪府や兵庫県下の中学校が一斉に学校閉鎖をして、その対策に乗り出した。日本は万全なる水際作戦を展開し絶対に感染しないと思っていたのだが。

経済も然り、昨春秋、米国に勃発した百年に一度の大不況も日本は無関係だと言われてきたが、今年に入り世界で一番の影響を受けているとの報道だ。現実を甘く見る悪い癖が何時の時からか日本人に身に付いてしまったようだ。

ところで、日本人は古来よりすばらしい知恵を授かっている。それは茅の輪くぐり神事である。昔、蘇民将来という貧しい方がおり、素戔嗚尊が宿を求められた時、そまつな食べ物だったが、心底から真心込めてさし上げ宿も与えられた。すると素戔嗚尊は、お返しに、茅がやで作った輪を腰に下げれば、万病から逃れるであろうと言われ、それを守った蘇民将来は無病息災、疫病(インフルエンザ等)にかからなかったと言い伝えられている。今後、毎年行われる茅の輪くぐり神事(六月三十日)に、元気に過ごせるよう参列してみても如何だろうか。